

自然観察館だより

TEL 0287-28-3251



休館日：毎週月曜（祝日を除く）、祝日の翌日（日曜を除く）
 ■開館時間…9:30～16:30（入館は16:00まで）
 ※8月の⑤⑥は17:00まで開館しています。

■世界のカブト・クワガタ展が好評開催中！

毎年夏恒例の同展では、今回も多数の標本展示と20匹以上の生体展示で世界のカブトムシとクワガタムシを紹介しています。

生体展示コーナーでは、アクティオンゾウカブトやニジイロクワガタなど珍しいカブトムシ・クワガタムシを多数展示しています。

また、ヘラクレスオオカブトなどに触れ合うことのできるコーナーも充実しています。この夏、皆さまのお越しをお待ちしています。



■本物に触れる機会を…出前自然観察館

自然観察館が保有する標本や生体を市内小学校に持参して行っている「出前自然観察館」は、今年で3年目を迎えました。主に3年生を中心に昆虫クイズ、生体の鑑賞や触れあいタイムなどを行っています。特に生きたカブトムシなどを目の前にした子どもたちのワクワク感はこちらにも伝わってきます。

今年も10校以上を回り、生き物や自然への理解を深めていこうと思います。



■自然観察会報告③…早起き探鳥会

5月31日、日本野鳥の会栃木支部および大田原理科クラブとの共催で、ふれあいの丘での早起き探鳥会を実施しました。ウグイスやホトトギス、ホオジロ（写真）など、全部で24種の野鳥を観察することができました。



次回のふれあいの丘での探鳥会は、令和9年1月11日⑤⑥（成人の日）を予定しています。

■自然観察会報告④…ヘラクレスオオカブト幼虫教室

6月20日、那須塩原市動植物調査研究会長 君島 章男先生を講師にお招きして夏の大人気企画「ヘラクレスオオカブト幼虫教室」を行いました。

今回は、生まれて間もないヘラクレスオオカブトの幼虫を手にして、正しい育て方や生態について学びました。今回の幼虫が羽化して成虫になるのは令和9年12月頃ですので、これから2年間の飼育、大切に育ててくださいね。



■臨時休館日

8月12日⑥（11日④⑤は開館）

詳細は自然観察館HPをご覧ください

天文館だより

TEL 0287-28-3254



休館日：毎週月曜（祝日を除く）、祝日の翌日（日曜を除く）
 ■開館時間…13:30～21:00（入館は20:30まで）

★星空情報★

■流星を見よう“ペルセウス座流星群”

流れ星をご覧になったことはあるでしょうか？見ようと思ってもなかなか見ることができませんが、そのチャンスが今月訪れます。8月13日頃に、3大流星群の一つ“ペルセウス座流星群”が見られます。

流れ星は、宇宙に漂う塵が地球に飛び込んでくる際に大気との摩擦で光って見える現象です。

一方、流星群は、塵が帯状に連なっている所に地球が飛び込むため、たくさん見られる現象を指します。

今回は塵が飛び込んでくる方向がペルセウス座方向にあるので“ペルセウス座流星群”と呼ばれます。

残念ながら、光り出すタイミングがさまざまなので、どこに出現するか予測はできませんが、流星の通った跡が光って見える流星痕の出現が期待できます。

8月13日に、天文館では芝生の上に寝ころんでの流星観望会を実施しますので、多くの方のご参加をお待ちしています。



★主なイベント（9月）★

①天の川を見よう

●日時 9月1日④～13日⑥ 19:10～21:00

●内容 夏の天の川を横切るように白い帯が見えます。天の川です。望遠鏡を向けるとそれが星の連なりであることが分かります。天の川に沿って点在する美しい天体もご覧いただけます。

②街角観望会（太陽を見よう）

●日時 9月19日⑤ 13:30～16:00

●場所 栃木県なかがわ水遊園

●内容 水遊園に望遠鏡を設置し、太陽表面の黒点やプロミネンスを観望していただけます。なお、当日の天文館は平常通り開館しています。

③月のクレーターを見よう

●日時 9月23日⑥・27日⑥ 19:10～21:00

●内容 満月の頃の月を観望します。大きさを違う望遠鏡を使い、さまざまな見え方をお楽しみいただけます。

④中秋の名月を見よう

●日時 9月26日⑤ 19:10～21:00

●内容 「中秋の名月」をお楽しみいただけます。アンドロメダ銀河や土星も見られます。



詳細は天文館HPをご覧ください

関東大震災と大関和

大正12年(1923)9月1日に発生した大地震(大正関東地震)により、火災や家屋倒壊など、甚大な被害が発生しました(関東大震災)。この時、和は66歳でした。自身が運営する大関看護婦会の建物や自宅も類焼する中、自ら被災者の救護にあたりました。

また、大関看護婦会に所属する看護師(山内てつ子・金高光枝子の2人)は、避難先の靖国神社馬場で多くの負傷者が集まっている光景を目にし、「傍観すべき時ではない」と考え、家に帰ることも寝食も忘れて2日間全力で看護しました。

3日目、2人は大関看護婦会に戻り、和に事情を説明しました。和は、2人に「よく働いてくれました。真に人のためにするのはこの時です。給料のどうこうを言う時ではない。あなた方2人の都合さえつくならば、避難所に戻って精一杯の働きをしてください」と声をかけました。

2人は避難所で6日間、看護にあたりましたが、2人の技術や誠意ある所作は患者を感激させ、他職員を奮い立たせました。大関看護婦会には和が教育した看護師が揃っていたため、質の高い優秀な看護師が多かったといいます。



▲大関和 (画像：医療法人知命堂病院所蔵)

黒羽芭蕉の館だより 第112回

黒羽芭蕉の館
☎ 0287-54-4151

稲葉正巳・大関増裕・勝海舟等肖像写真

今回は、稲葉正巳・大関増裕・勝海舟等肖像写真を紹介します。これは、幕末期の慶応3年(1867)9月22日に江戸の旧浜御殿(当時は海軍所、現東京都中央区の浜離宮恩賜庭園)で撮影された写真です。旧黒羽藩士の小林華平が著し、明治42年(1909)に出版された『大関肥後守増裕公略記』に口絵写真として掲載されています。

右端の人物が黒羽藩15代藩主大関増裕(数え31歳)で、当時は若年寄兼海軍奉行として幕府で活躍していました。右から3人目の人物は、勝海舟(同45歳)で、当時は増裕の部下として軍艦奉行を務めていました。右から4人目は老中格兼海軍総裁の稲葉正巳(同53歳)で、6人目はアメリカ公使ヴァルケンバーグ(フォルケンブルク)、左端は外国奉行江連加賀守堯則です。

右から2人目と5人目の人物については、それぞれ複数の説があり、確定されていません。この写真が撮影された翌月には、将軍徳川慶喜による大政奉還となります。増裕は11月、2名の家臣を密使として京都に派遣し朝廷への内通を図っており、12月初旬には幕府の公職に就いたまま帰藩し、12月9日(王政復古の大号令の日)、不慮の死を遂げました。亡くなる76日前の増裕の姿が映された本資料は、当館大関記念室で展示中ですので、ぜひご覧ください。



子ども未来館のお知らせ

子ども未来館
☎ 0287-47-4125

●わくわくらんど遊び方●

①②③および繁忙期		平日	
4クール制		2クール制	
1クール	9:00～10:30	午前の部	9:00～12:30
2クール	11:00～12:30		
3クール	13:00～14:30	午後の部	13:00～16:30
4クール	15:00～16:30		

※整理券(各クール150名)は当日8:50から配布します。

【夏休みなどの期間はご注意ください】

▶夏休み4クール制 7月18日(土)～8月26日(水)

▶秋休み4クール制 10月10日(土)～14日(水)

※団体利用や親子ふれあいキッチン・親子レクリエーションルームの利用については、子ども未来館へお問い合わせください。

●休館日 8月3日(月)・7日(金)～8日(土)、
9月7日(月)、10月5日(月)

※最新の開館情報は、トコトコ大田原HPをご覧ください。



🐱遊び場紹介(キッズタウン)🐱



ブロックで作ったものはなんだろう？
「翼もあるんだよ！」と、女の子が教えました。

ブロック
上手に作れたね！



🌸イベント報告(5月25日～29日)🌸

「お弁当工作～つくってつめて楽しもう～」を行い、5日間で96人が参加しました。折り紙で作った10種類のおかずから、選んで・つめて、お弁当工作作品の完成です。お弁当は、兄弟姉妹でも三者三様！

